

第五回蒸気噴出対策連絡会議（8月22日開催）について

噴出抑制策検討の進捗状況と今後の見通し、並びに環境影響評価会の組成状況について、事業者より資料に沿って説明され、主に以下の点についての質疑応答と要望がなされると共に、出席者間での意見交換がなされた。次回連絡会議は9月5日に予定することが連絡された。

1. 質疑応答

- (ア) 井戸の埋め戻し作業における懸念点と対応策についての質問に対する、セメントの土台形成における砂利の量と追加調達体制に関する補足説明
- (イ) 環境影響評価会の目指すところについての質問に対する、第三者の専門家による客観的な検討結果を連絡会議で説明の上で、住民の方々に分かりやすく伝えていくことを期待している旨の説明
- (ウ) 環境評価会議における樹木の専門家の有無についての質問に対する、現在関係者と選定にむけ相談中である旨の説明
- (エ) 事業者が起用済の環境コンサルタントによる調査範囲についての質問に対する、評価会の意見を同調査の過程に反映させていく旨の説明

2. 出席者間での意見交換

- (ア) 8月に行われた後志総合振興局の「ヒ素による健康影響」に関する研修内容について、住民の安心材料として公開することの可否（北海道経産局）
- (イ) 「ヒ素による健康影響」に関する研修内容については、一般向け資料への修正が完了次第公表する予定（後志総合振興局）

3. 事業者への意見と要望

(ア) 蒸気噴出制圧後の水質モニタリング継続の重要性

(イ) 評価会は客観的に第三者が検討を行う組織として有意義

(ウ) 評価会における結果の積極的な発信の重要性

(エ) 評価会での地域の環境に今後及ぼす将来影響の評価、並びに道有林に対する調査
実施

(オ) 安全である目安や数値を示すことで安心へと繋がるアプローチを評価会がとることへの期待

以上